

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 190-8517
 住 所 東京都立川市栄町6-1-1
 氏 名 株式会社 いなげや
 代表取締役社長

成瀬 直人

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 いなげや		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 多摩区中野島2325-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	1	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の業容	スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,803	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計 画 期 間	2019 年度 ~ 2021 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	特記ありません

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

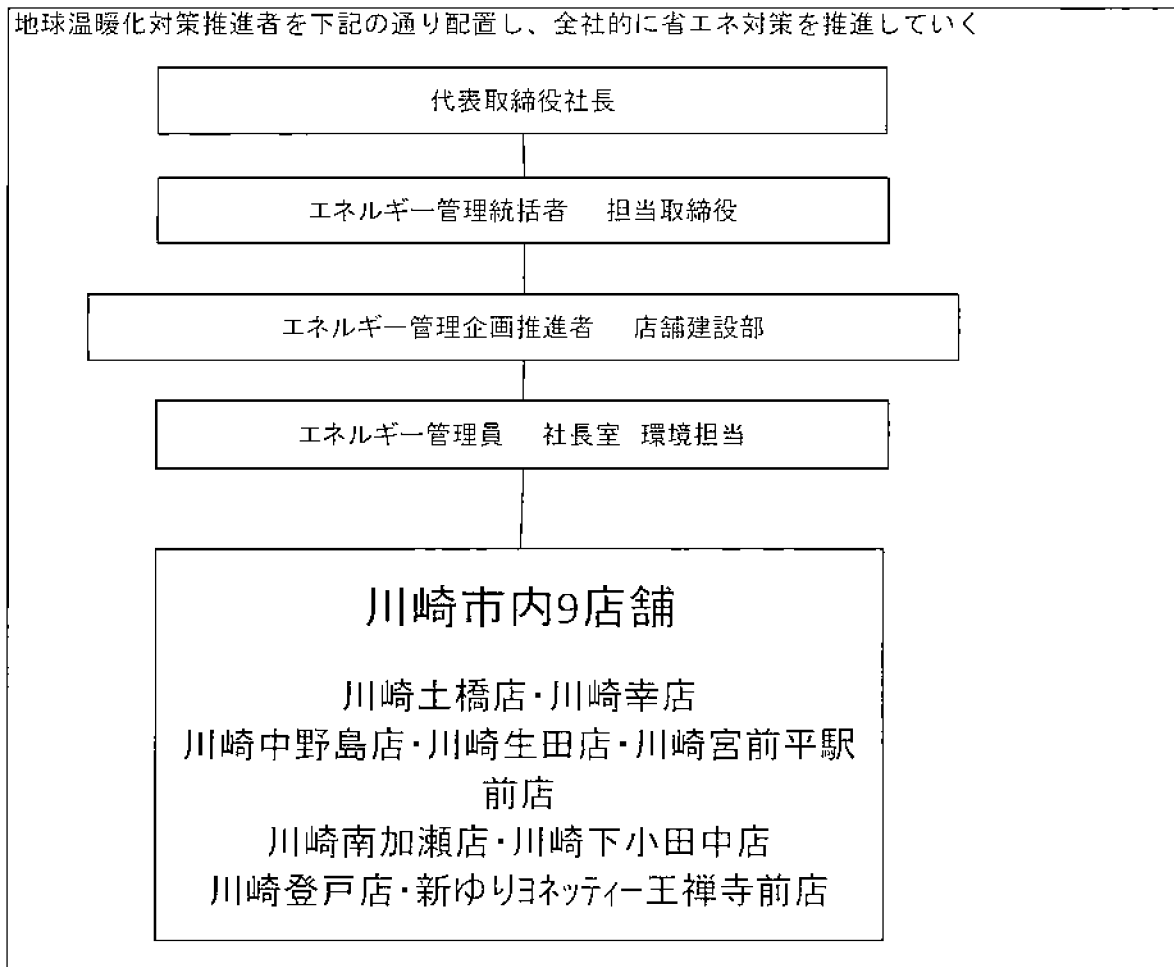
電気設備について、管理基準に基づき、確実に省エネ対策の実行・継続を図る。
 ①電気設備・・・温度設定（夏季・冬季）、稼働時間、フィルター清掃（定期）etc
 ②照明設備・・・反射板の清掃、点灯時間、無駄な照明の消灯 etc
 ③冷凍設備・・・ハニカム清掃（定期設定）、温度管理、商品の陳列方法 etc

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

設備の経年劣化を把握し、引き続き順次。省エネ機器への変更を推進して行く。
 ①照明設備・・・エネルギー効率の悪い照明（蛍光灯、ハロゲン等）をLED照明化、及び 設置本数についても見直してゆく。
 今期はバックヤードや、共有スペースを見直す計画
 ②改造店については冷凍設備の交換を計画に盛り込む。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

地球温暖化対策推進者を下記の通り配置し、全社的に省エネ対策を推進していく



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（(実)は実排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等		
基準	年度	2018				年度
目標	年度	2021				年度
基準	排出量	(実)	5,187	(実)		
		(調)	5,047 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
目標	排出量	(実)	5,031	(実)		
		(調)	4,896 t-CO ₂	(調)	t-CO ₂	
削減量		(実)	156 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
内訳	対策実施による削減量	(実)	156 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂	
削減率		(実)	3.0 %	(実)	%	

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原単位等の活動量		延べ床面積*営業日数			
原単位の単位		t-CO ₂ /t			
基準年度の値		1.741			
目標年度の値		1.689			
削減率		3.0 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

排出量総量での削減目標としましては、管理標準に基づき、確実に省エネ対策を実行・継続していき、3年間で毎年1%の削減を目標といたします。
 しかしながら、総量での削減は、我々チェーンストアの業態においては、店舗数減（閉店）をしないかぎりかなり難しいと考えます。弊社の現状、市内店舗を閉店する予定はなく、むしろ今後におきましては出店の機会があれば、出店する可能性の方が高いと考えます。
 従って、弊社の削減目標設定・削減計画については、第1期同様に「原単位」で実施することとし、年間で1%の削減を目標といたします。
 目標排出量は現状の店舗数のまま増減のないものとして算定いたしました。
 なお、こちらの考え方は弊社グループ関連会社含めまして全社で共有化しております。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

全社的にも毎年1%の削減目標としております。

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	①冷蔵設備：運転の効率化を図れるよう、各店冷設の運転状況の把握を前年度に引き続き継続・実施していく。 ②空調調和設備：外気導入も含め、外部環境に応じたエネルギー効率の向上を検討していく。また、設備の経年劣化を鑑み、順次省エネタイプの機器への入替等を実施していくことに努める。 ③照明設備：定期的な清掃・ランプ交換等による保守点検を実施し、照度基準管理、減光・消灯管理ルールに基づいて、各店にて実施出来るように努める。また、経年劣化を鑑み、順次省エネタイプ機器への入替等を実施していくことに努めていく。(バックルーム、共有スペースのLED照明への順次切り替え)
第1年度	/
第2年度	/
第3年度	/
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	/

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

<ul style="list-style-type: none"> ・川崎宮前平駅前店 冷蔵設備の空冷コンデンサーに散水を実施し、運転の効率化を図った。 ・川崎幸店 売り場照明のLED化を実施

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()	×	
その他()	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム(FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	×
EV、PHV、FCV	×	その他()	×

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	未定の為、公表する事項はありません
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	未定の為、公表する事項はありません
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	5,187	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

	2,803	K I.
--	-------	------

ウ 事業所の数

	9
--	---

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t CO ₂